

LINE ARRAY SPEAKER
VXL SERIES
WEATHER-RESISTANT MODELS



2024年3月期

第3四半期決算説明会



2024年2月7日

ヤマハ株式会社

決算発表のポイント

決算概要

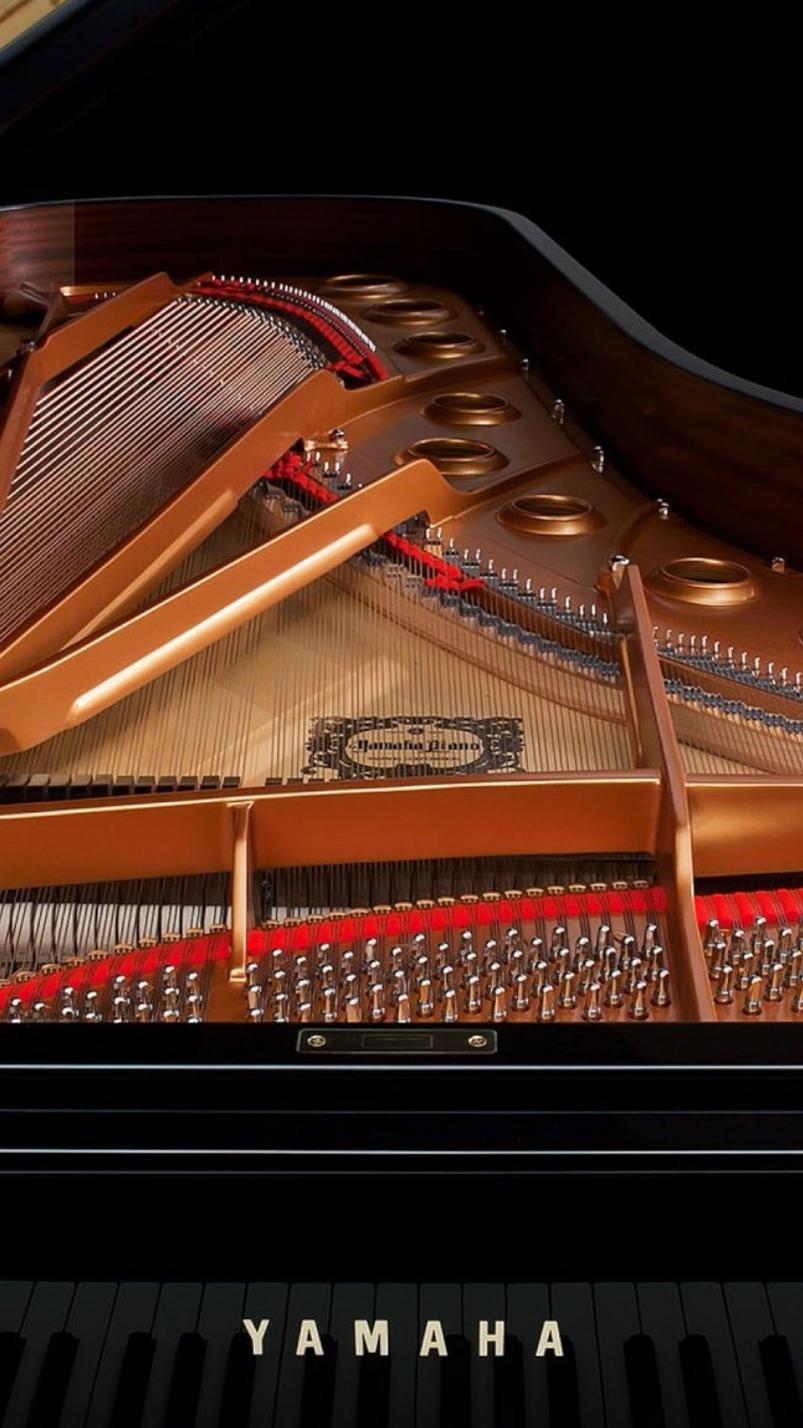
【24/3月期 3Q累計実績】

- ・ 欧米市場のデジタルピアノ（DP）の市況の戻りが想定より遅れたことや、中国市場の低迷が続く、楽器は減収も、法人向け音響機器の好調に加え、為替影響により増収
- ・ 楽器の減収と在庫削減のための生産調整等により減益
- ・ 中国のピアノフレーム製造工程を日本に集約することから減損損失▲21億円を計上

業績予想

【24/3月期 通期予想】

- ・ 欧米のDP需要回復遅れ、中国の市況低迷継続による売上の減少に加え、一時処理費用などを織り込み、売上収益、事業利益を下方修正
- ・ 年間配当は74円を据え置き



Y A M A H A

1. 決算概要

業績概要

(億円)

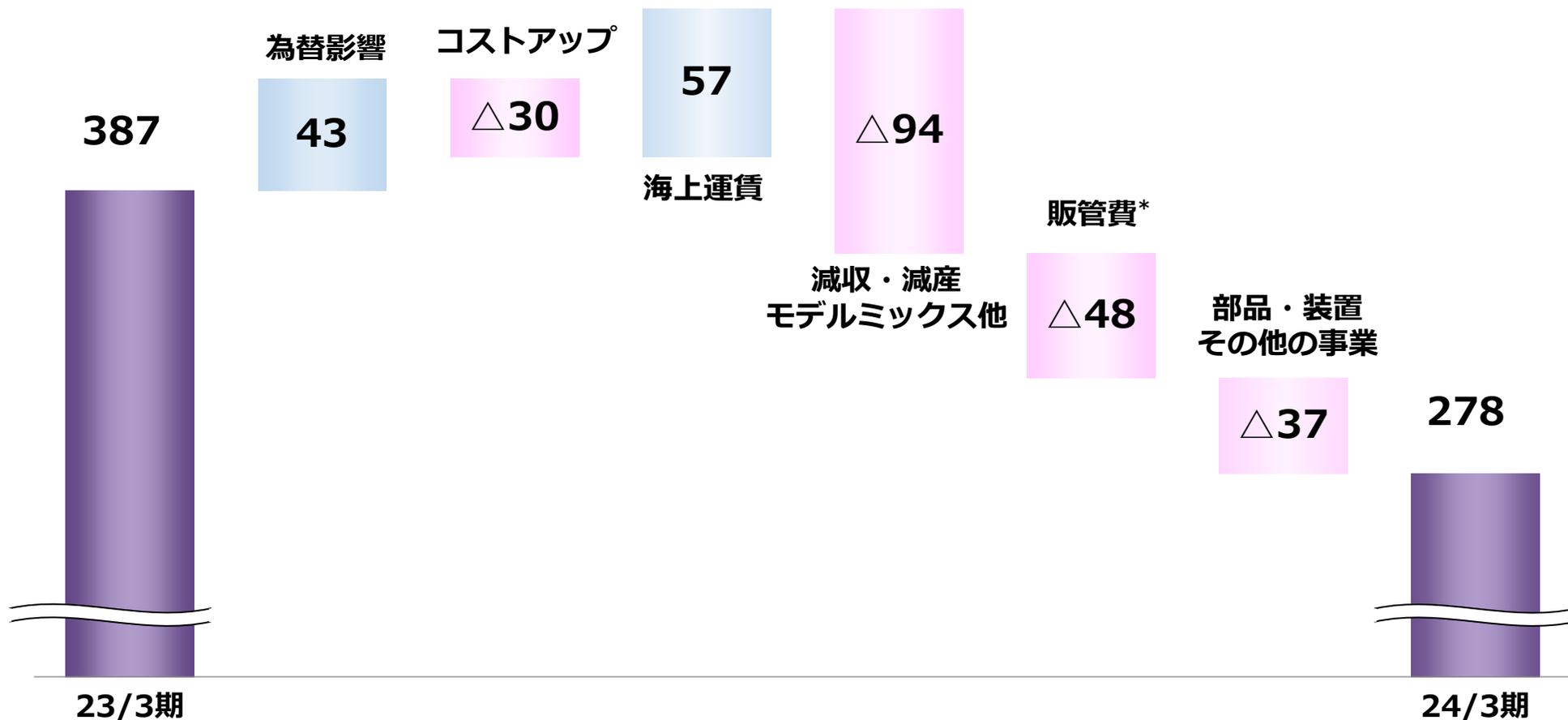
	23/3		24/3		前期比	
売上収益	3,382		3,418		+36	+1.1% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)	387 (11.5%)		278 (8.1%)		△109	△28.2%
当期利益 ^{*1}	300		207		△93	△30.9%
						^{*2} △3.2% (為替影響除く)
為替レート (円)						
売上収益 (期中平均)	US\$	136	143			
	EUR	141	155			
利益 (決済レート)	US\$	136	143			
	EUR	135	144			

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



* 新規連結影響除く

事業別業績

(億円)

		23/3	24/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	2,304	2,281	△24	94
	事業利益	314	214	△100	31
	事業利益率	13.6%	9.4%	△4.3P	
音響機器事業	売上収益	761	862	101	42
	事業利益	17	41	24	8
	事業利益率	2.2%	4.7%	2.5P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	316	275	△42	8
	事業利益	56	24	△33	5
	事業利益率	17.8%	8.6%	△9.3P	

通期業績予想

(億円)

	23/3	24/3 (前回予想)	24/3 (今回予想)	前期比	前回予想比
売上収益	4,514	4,650	4,600	+86 ^{*2}	△50
事業利益 (事業利益率)	459 (10.2%)	420 (9.0%)	340 (7.4%)	△119	△80
当期利益 ^{*1}	382	345	290	△92	△55

*2△2.9%
(為替影響除く)

為替レート (円)					1円変動による影響額
売上収益 (期中平均)	US\$	135	141	144	約10.2億円
	EUR	141	152	155	約6.2億円
利益 (決済レート)	US\$	136	140	143	約1.1億円
	EUR	136	146	146	約4.1億円

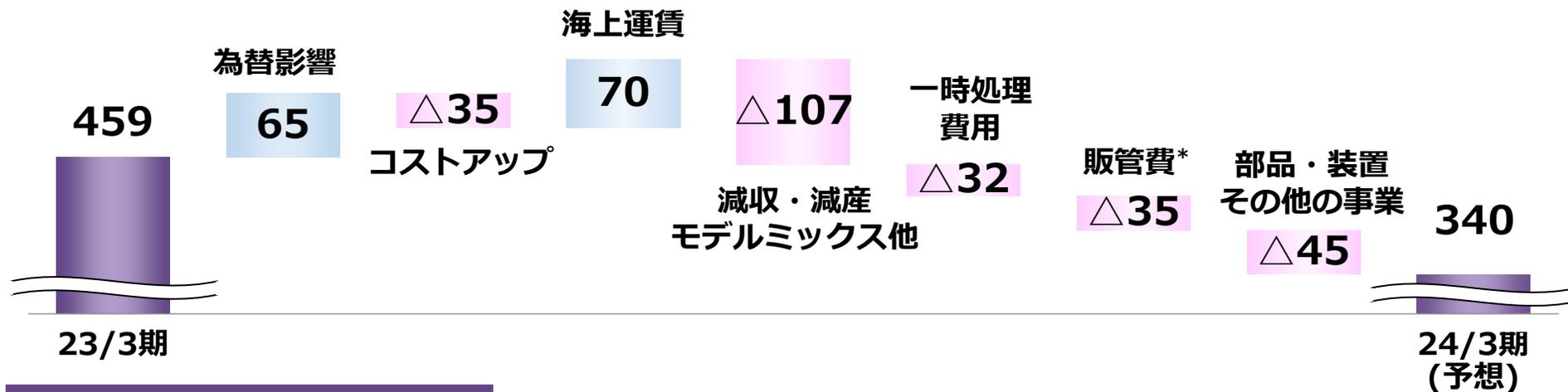
*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

※4Qの為替前提は、US\$=145円、ユーロ=155円

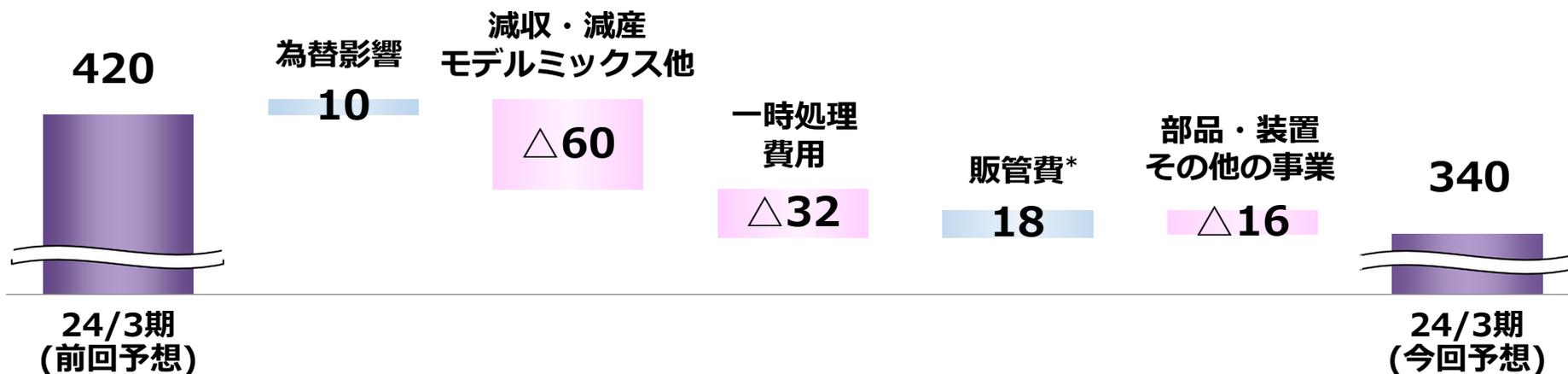
事業利益増減要因

前期との比較

(億円)



前回予想との比較



* 新規連結影響除く

事業別業績予想・前期比

(億円)

		23/3	24/3予想	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	3,027	3,050	23	144
	事業利益	362	265	△97	45
	事業利益率	12.0%	8.7%	△3.3P	
音響機器事業	売上収益	1,076	1,180	104	61
	事業利益	35	50	15	12
	事業利益率	3.2%	4.2%	+1.0P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	411	370	△41	11
	事業利益	62	25	△37	8
	事業利益率	15.1%	6.8%	△8.3P	

製造戦略の見直し、固定費削減

製造戦略を見直すとともに、海外工場中心に大幅な要員削減を実施

環境変化、課題

- 市場変化への迅速な対応（調達・生産）
- 海外生産メリットの低下
海外労務費上昇、円安、
地政学リスク、中国市場の変化など
- 技術・技能の分散、継承できないリスク



調達レジリエンスの強化

- 半導体調達会社をマレーシアに設立
 - ・部品集約とメーカー絞り込み
 - ・メーカーとの直取引

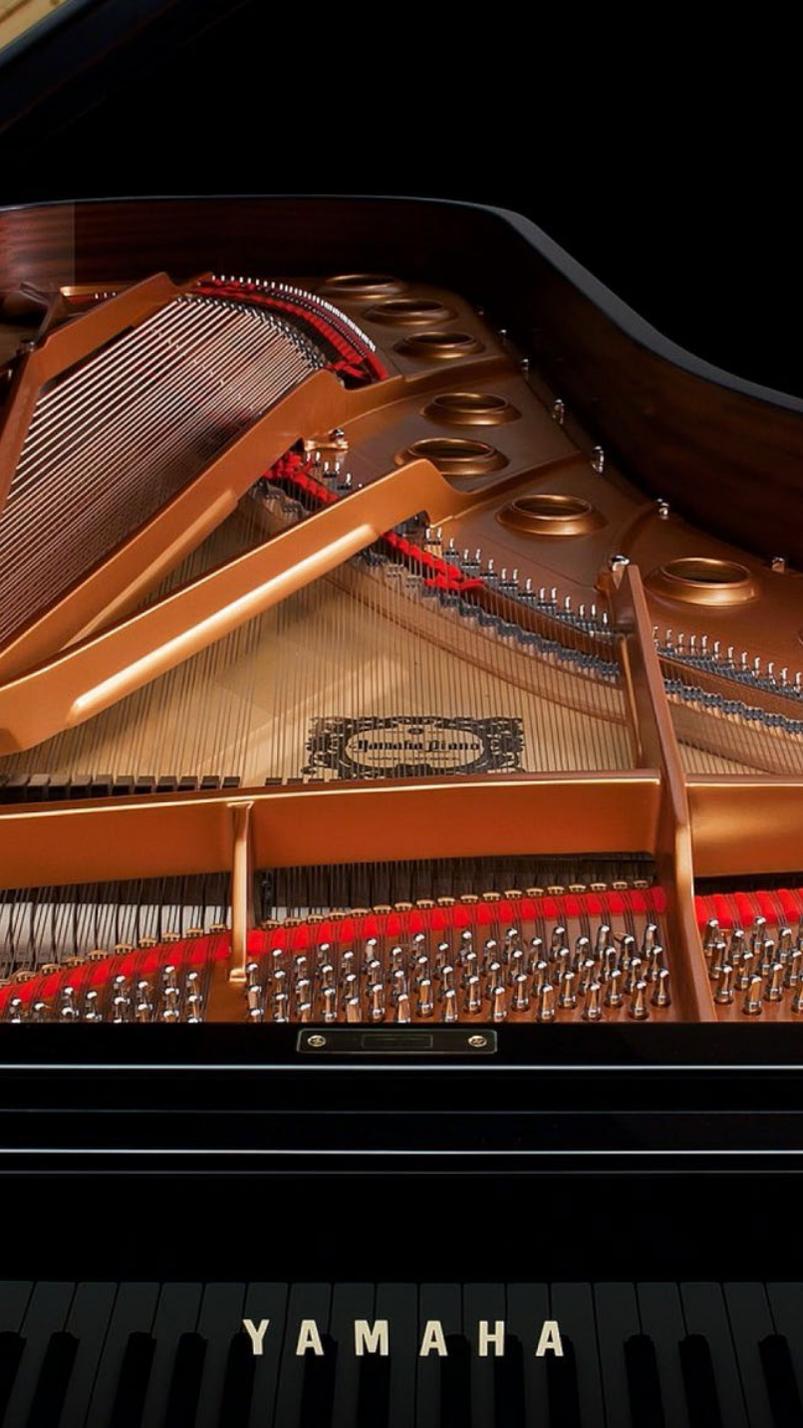
日本での生産マザー機能再強化

- 国内製造子会社のヤマハ(株)への吸収合併
 - ・開発・生産技術・技能の融合
 - ・本社主導の技能伝承
 - ・グローバル生産体制の牽引
- ピアノフレーム生産工程を日本に集約

足元の減産に対応する為、今期実施中

- ・海外工場の要員削減約 2,000名（約10%）

*中国での製造設備の減損等：24億円
(Q3実績21億円、Q4見込3億円)

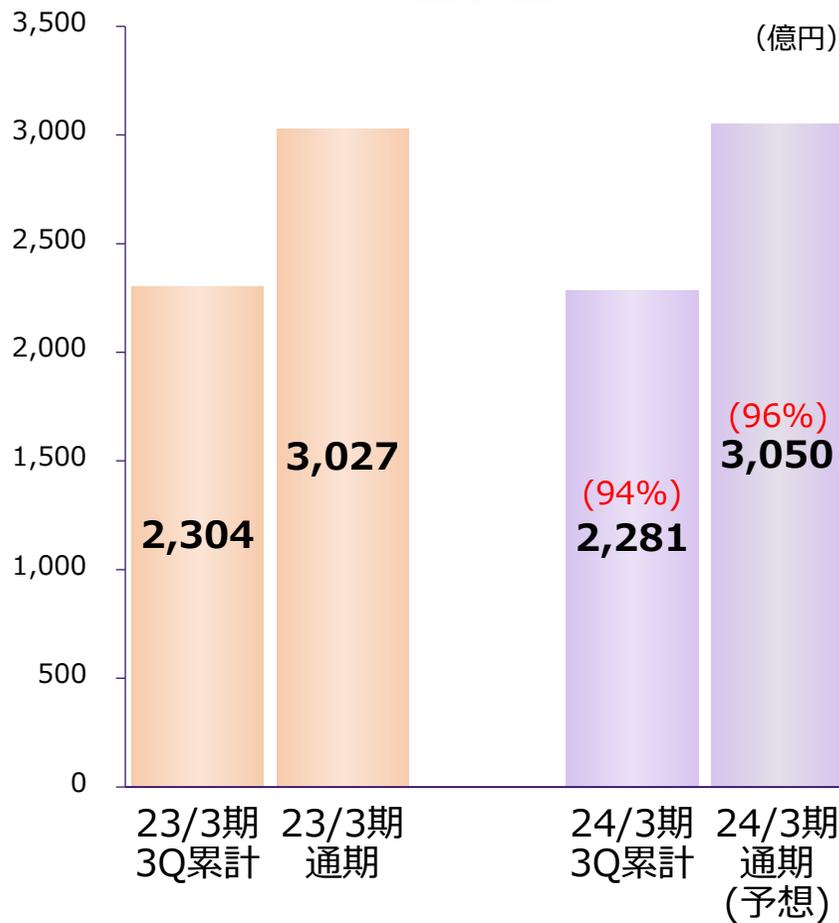


Y A M A H A

2. 事業別概要

売上収益・事業利益

売上収益



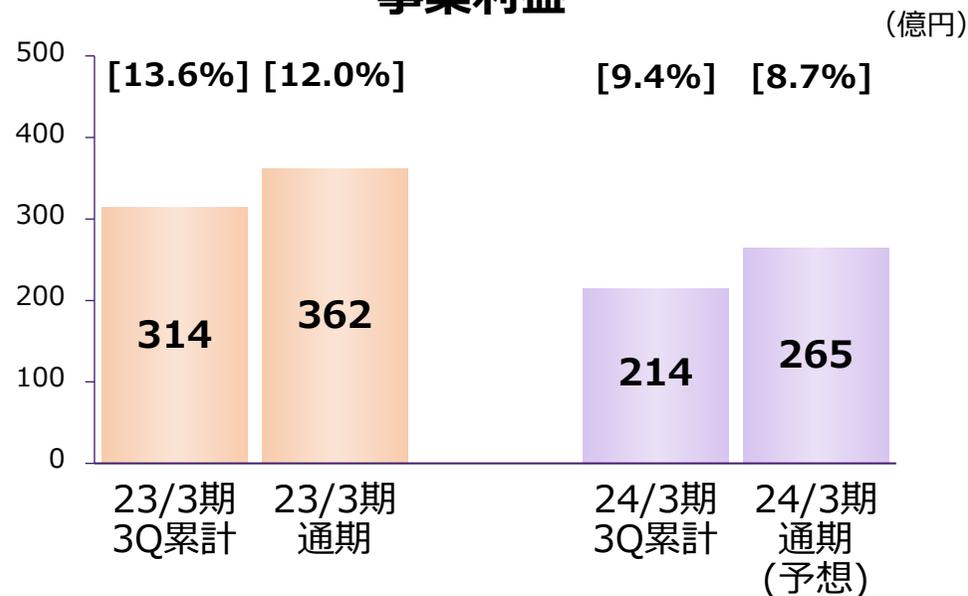
[3Q累計状況] ピアノ、DP販売減により減収

・電子楽器は、エントリーモデルDPの欧米での需要の戻りの遅れから減収、管弦打楽器は日本・欧州での需要回復により増収、ギターはアコースティックギター市況厳しいがコルドバ社が加わり増収

[通期見込] 中国、DPの市況厳しく減収を予想

・ピアノは中国市場低迷続き減収、電子楽器は欧米中心に回復の兆しが見えていたDP需要の戻りが想定より遅く減収、管弦打楽器は需要堅調で増収、ギターはコルドバ社が加わり増収を予想
(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前同期比増減

[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

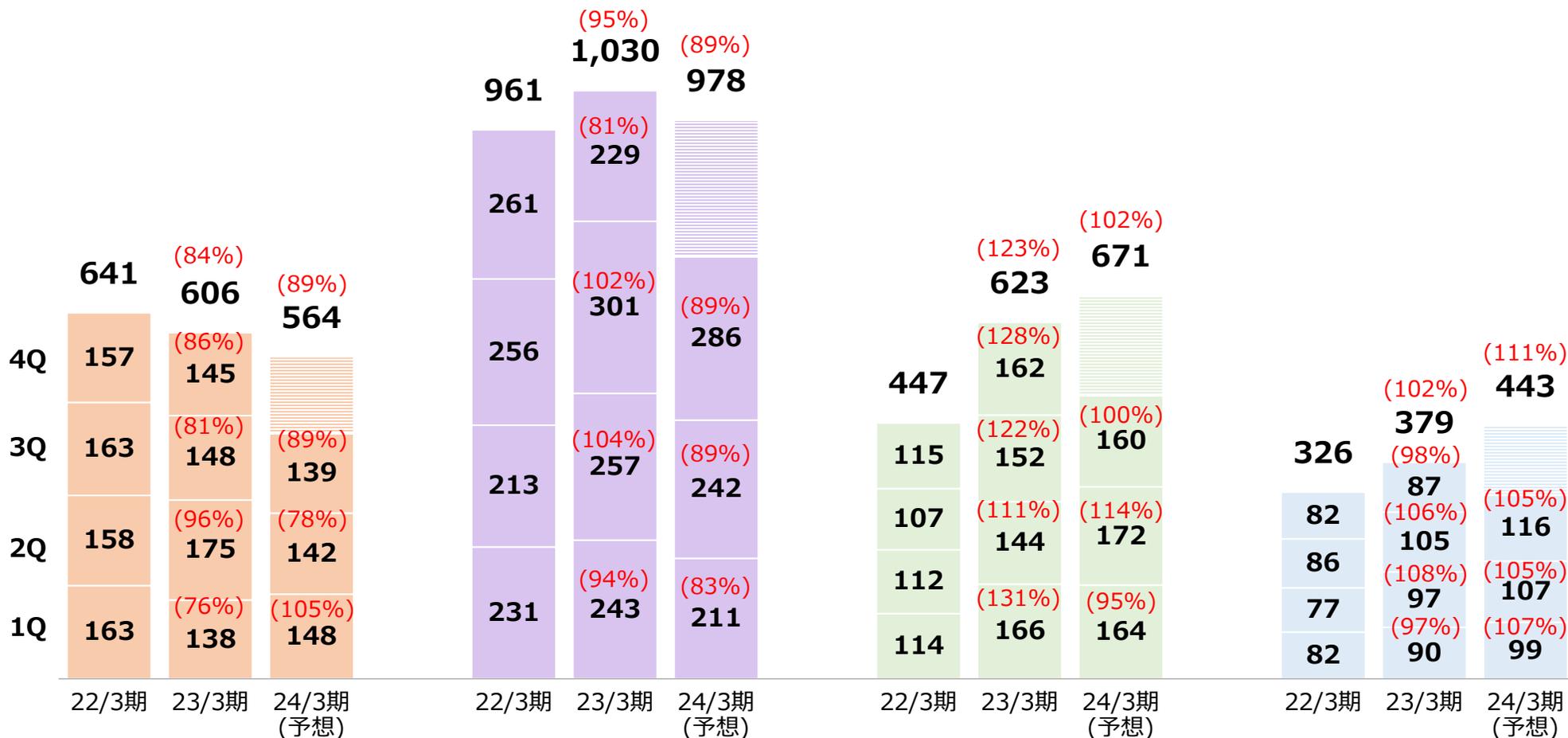
ピアノ

電子楽器

管弦打楽器

ギター

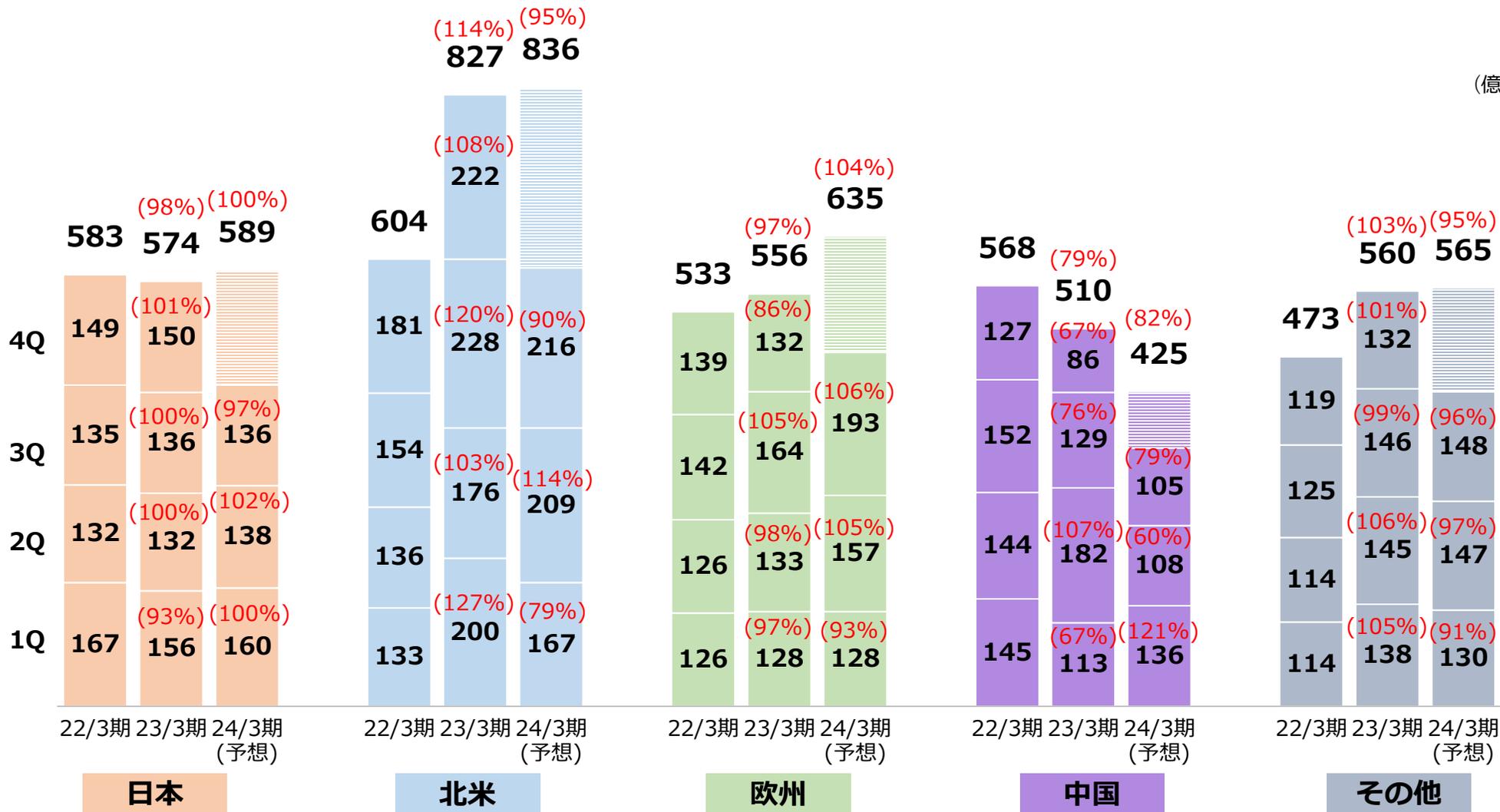
(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別販売状況

(億円)

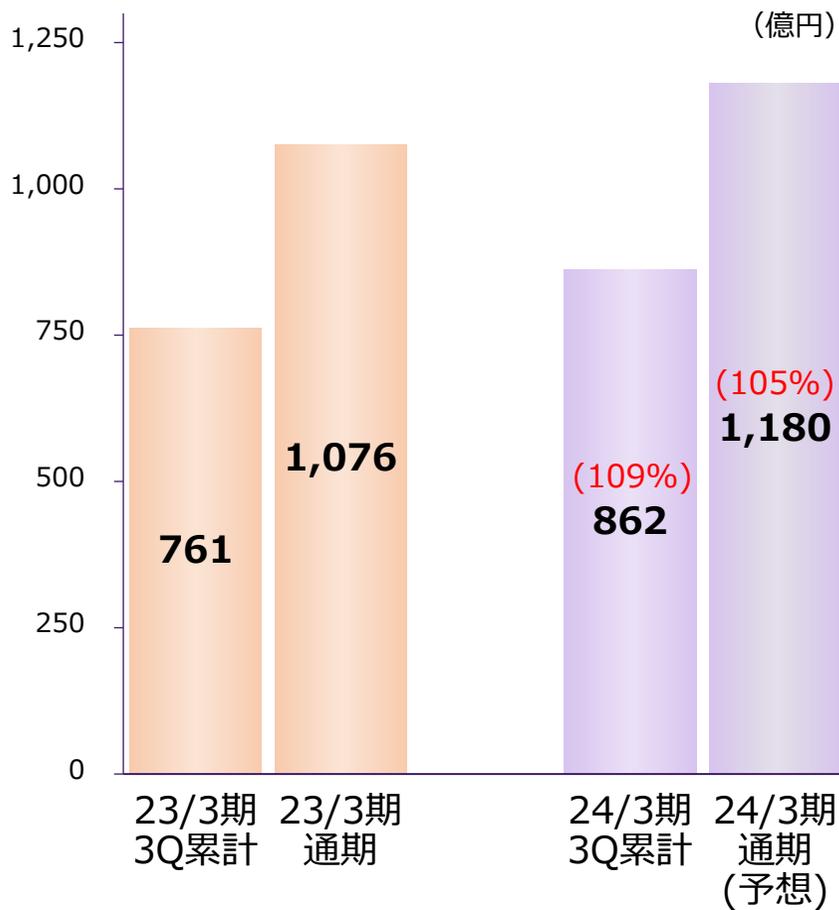


※ソフト、音楽教室等を含む

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[3Q累計状況] 法人向け好調継続し増収

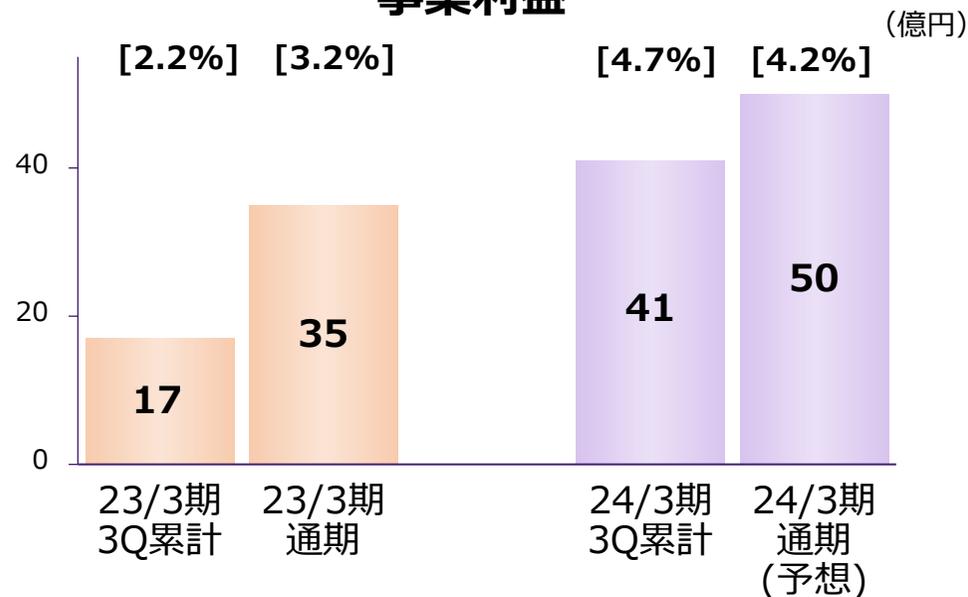
- ・個人向けは市況低迷続き減収
- ・法人向けは需要堅調に加え新商品効果により大幅増収

[通期見込] 法人向けの牽引で増収を予想

- ・個人向けは需要減続き減収を予想
- ・法人向けはライブ・エンタメ市場活況続き増収を予想
- ・法人向けの伸長により事業利益は前期を上回る

(増減収はすべて実質ベース)

事業利益

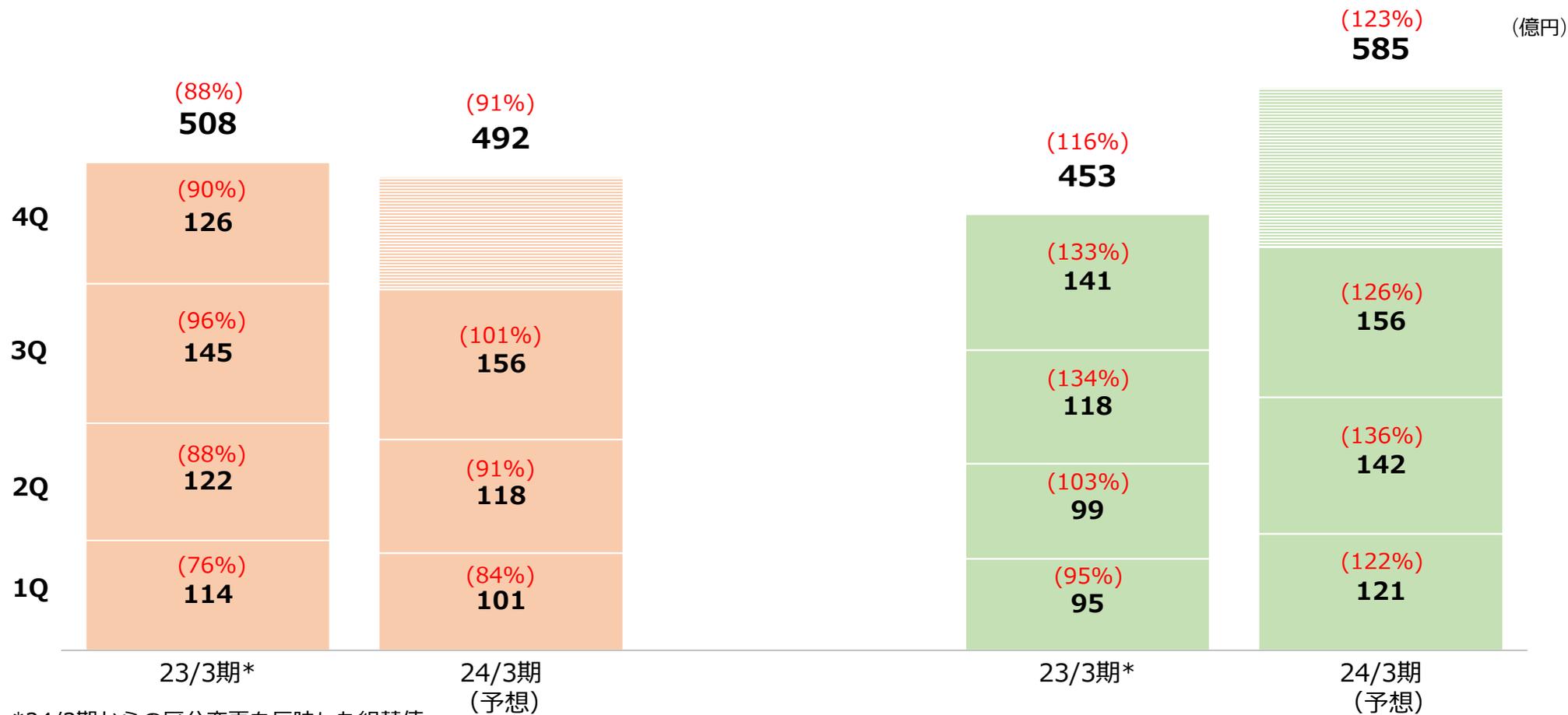


[]内は事業利益率

主要商品 販売状況

個人向け

法人向け

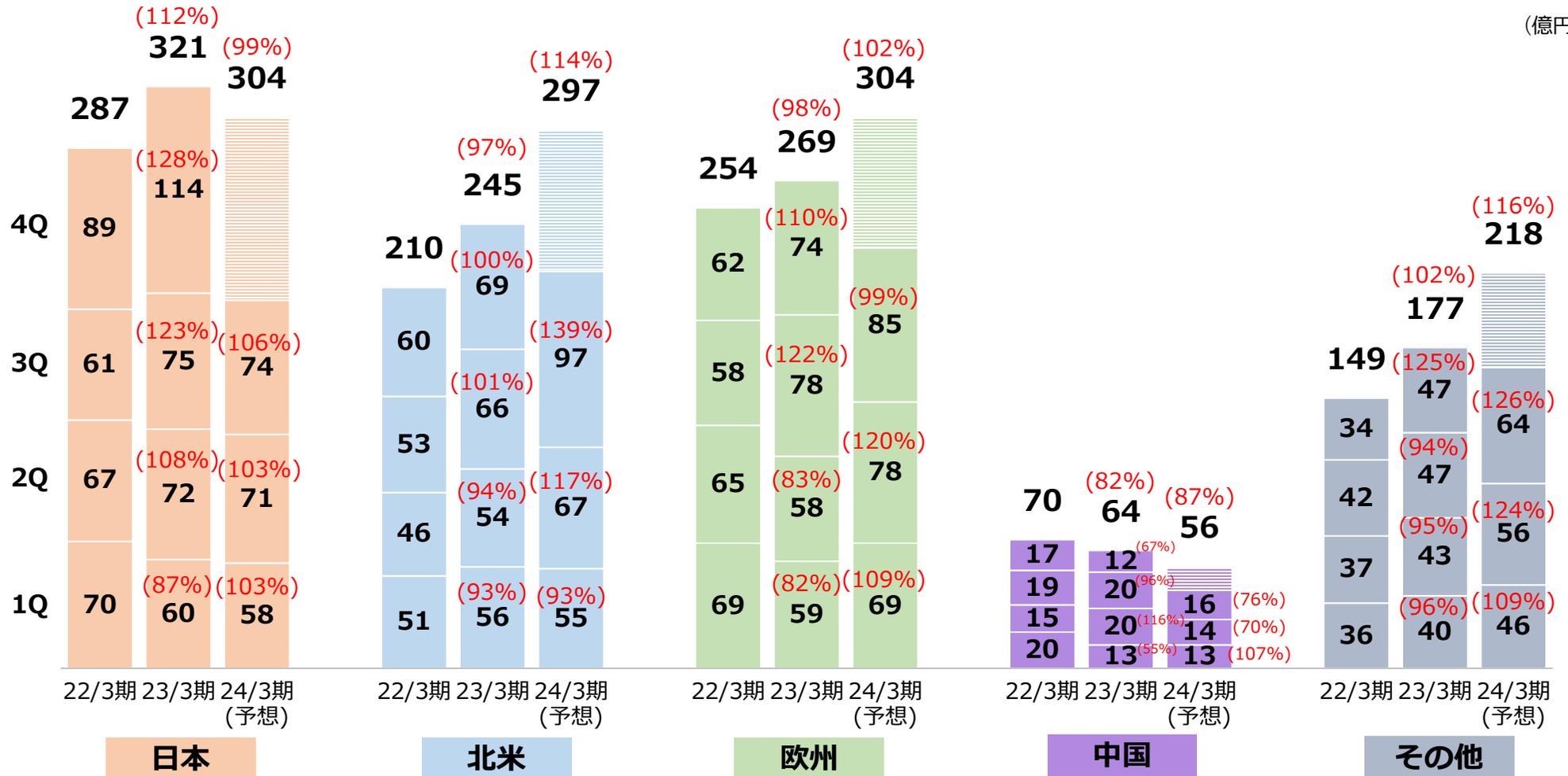


*24/3期からの区分変更を反映した組替値

()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

地域別販売状況

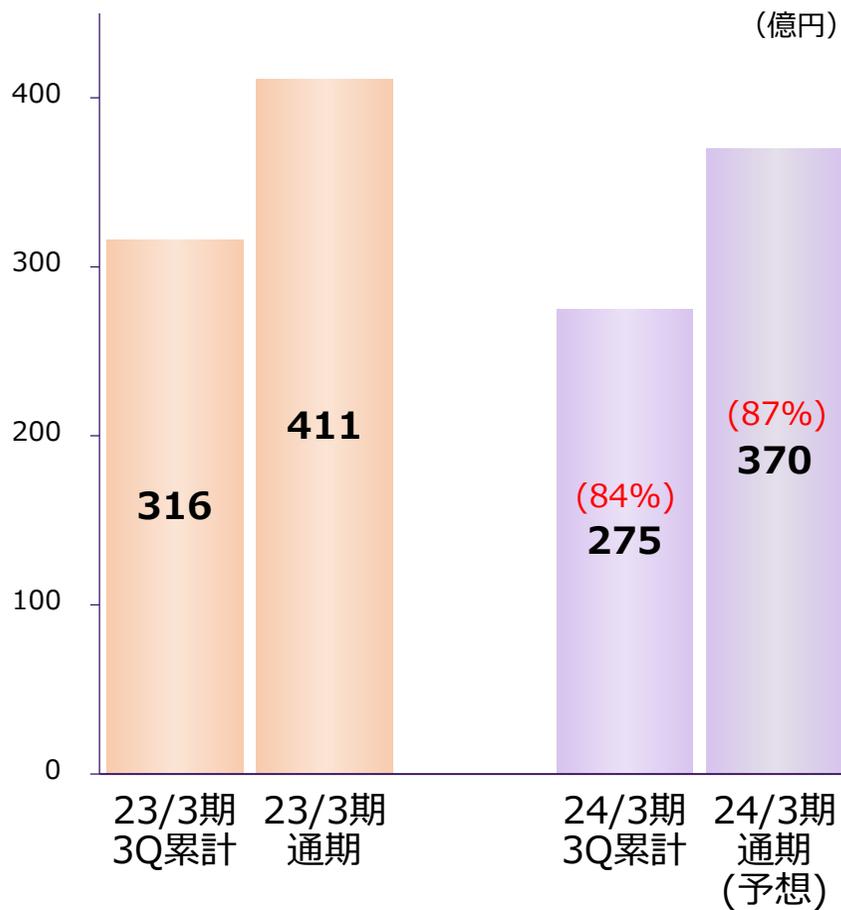
(億円)



()内は為替を除いた実質ベースでの前期比増減

売上収益・事業利益

売上収益



[3Q累計状況]

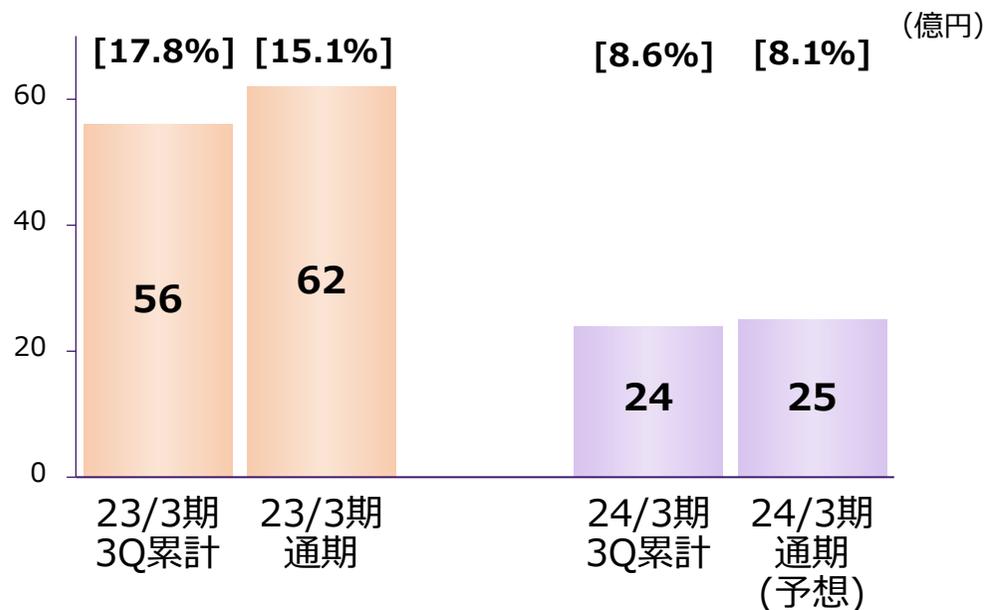
・車載オーディオ、自動車用内装部品が堅調で部品・装置は増収

[通期見込]

- ・車載オーディオの拡大で部品・装置は増収を予想
- ・ゴルフの前年特需に対し減収を予想

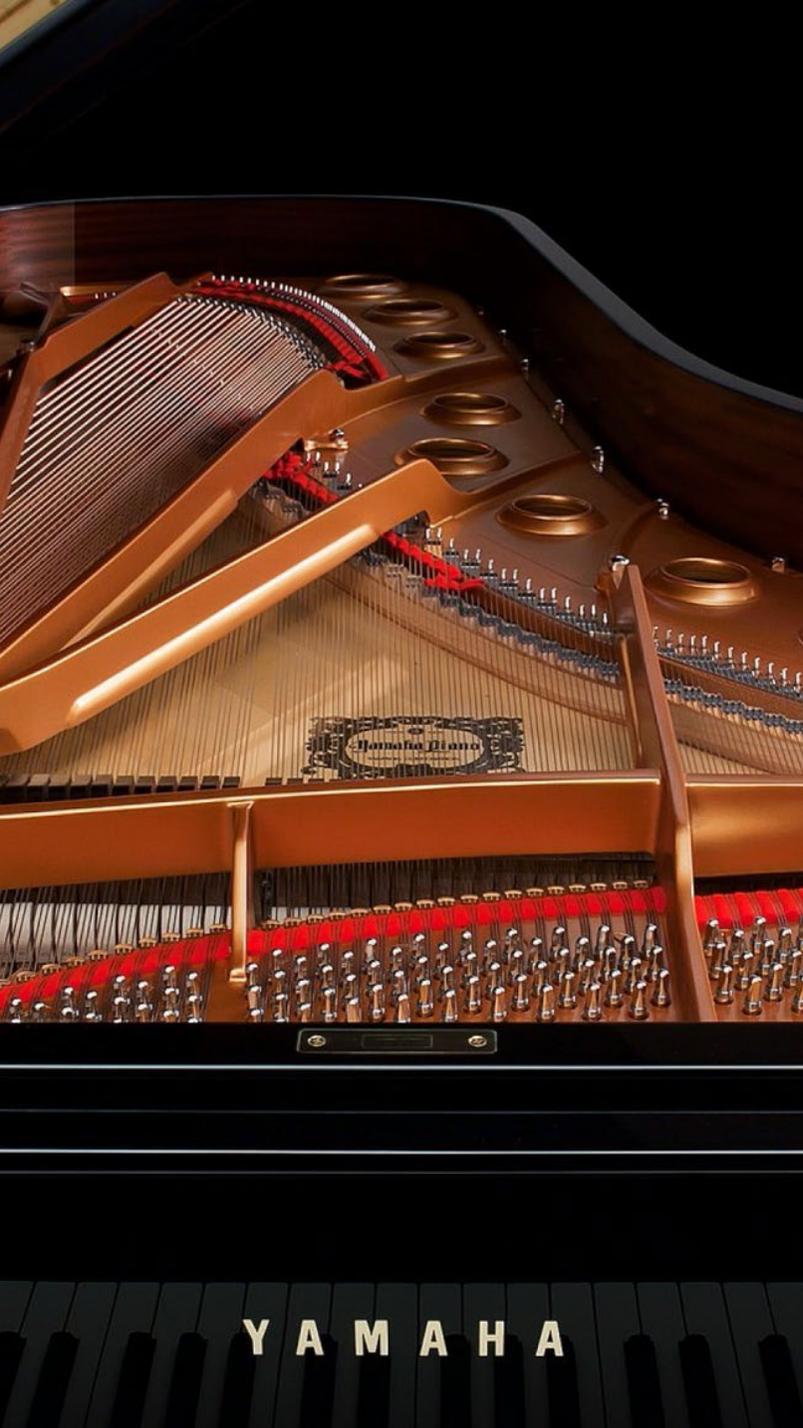
(増減収はすべて実質ベース)

事業利益



()内は為替を除いた実質ベースでの前年同期比増減

[]内は事業利益率



Y A M A H A

3. その他財務数値

貸借対照表

(億円)

	23/3末	24/3 3Q末	増減	24/3末 (予想)
現金及び現金同等物	1,039	900	△139	1,080
営業債権他	754	799	45	750
その他金融資産	11	45	34	15
棚卸資産	1,537	1,707	170	1,570
他流動資産	126	85	△42	90
非流動資産	2,475	2,737	261	2,854
資産計	5,942	6,272	330	6,360
流動負債	951	973	22	985
非流動負債	412	470	59	455
資本計	4,579	4,829	249	4,920
負債及び資本計	5,942	6,272	330	6,360

※Cordoba Music Group, LLC取得による暫定的な会計処理の確定に伴い、2023年3月期の数値を遡及修正しています。

※当社は、2024年2月6日開催の取締役会において自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

当期予想については、当該自己株式の取得の影響を考慮しておりません。

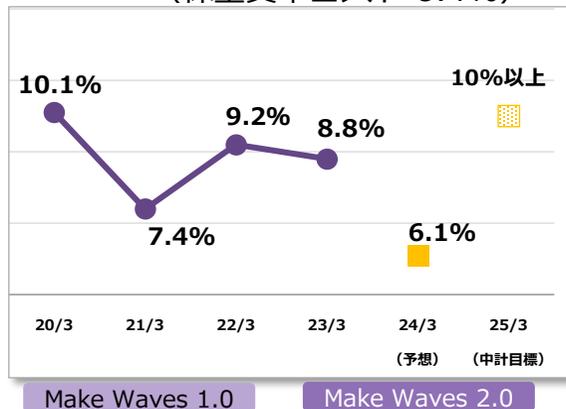
自己株式取得

【決議日】	2024年2月6日
【理由】	株主還元と資本効率の向上を図るため
【取得期間】	2024年2月7日～2024年7月31日
【取得総数】	700万株（上限とする） 発行済株式総数(自己株式除く)に対する割合4.1%
【取得総額】	150億円（上限とする）
【取得方法】	東京証券取引所における市場買付

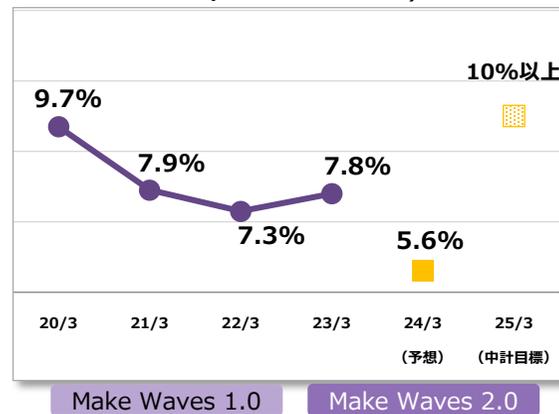
※2023年12月31日時点の発行済株式総数（自己株式除く） 168,788,217株

ROE、ROIC、株主還元等

ROE 当期見込 6.1%
(株主資本コスト 8.4%)



ROIC 当期見込 5.6%
(WACC 8.4%)

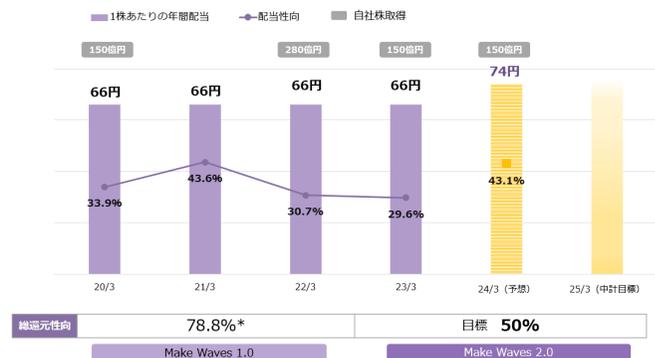


資本コスト：CAPMベース
ROIC = 税引後事業利益 ÷ (親会社の所有者に帰属する株主資本 + 有利子負債)

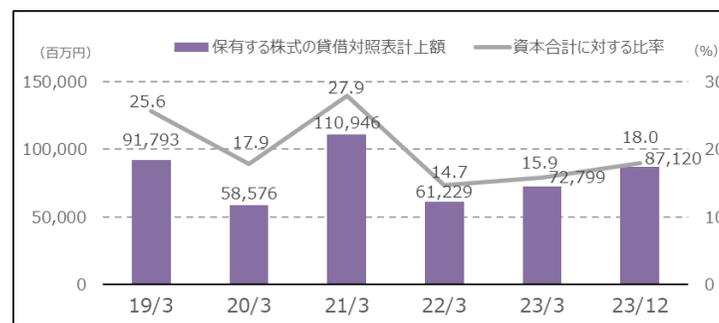
<現状評価と改善に向けた方針>

収益の悪化に伴いROEは6.1%と株主資本コストを下回る見込み。今後、収益の改善および、総還元性向50%（中計期間）の株主還元を着実に実行することにより、できるだけ早期に先ずは株主資本コストを上回るROEを目指す。

株主還元

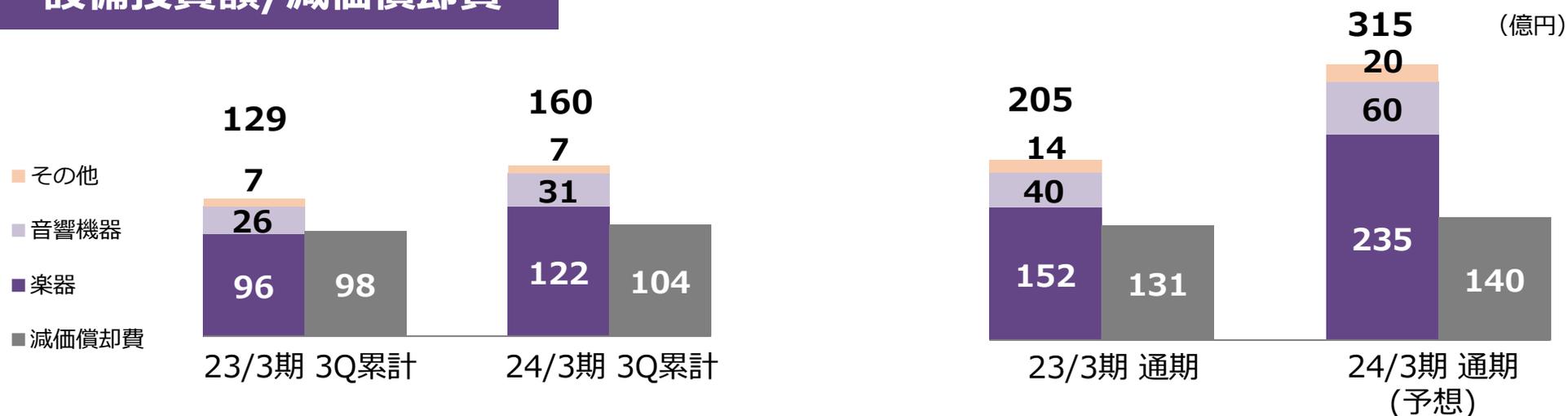


政策保有株式

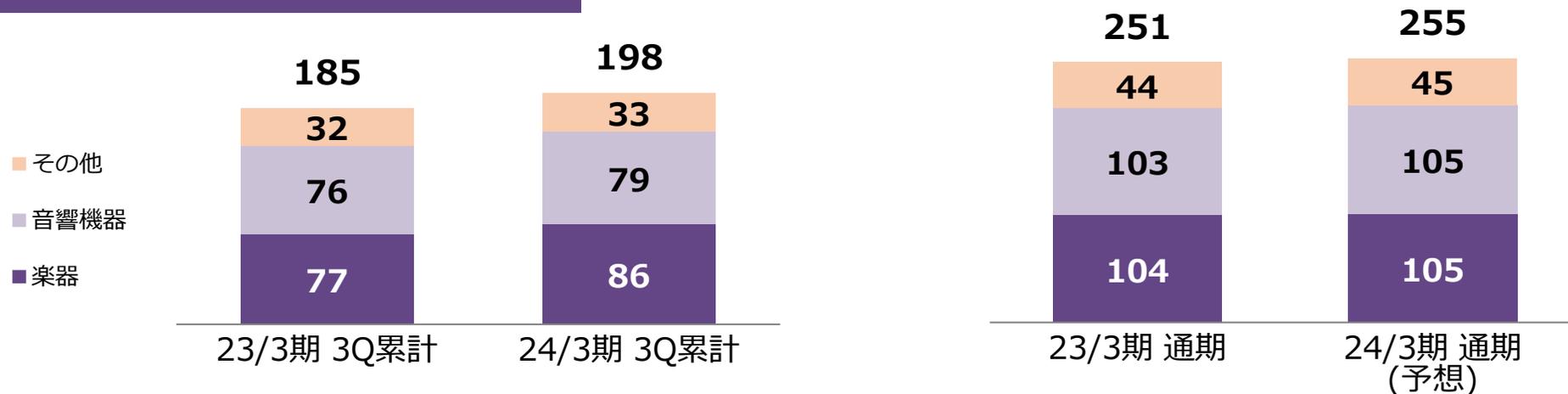


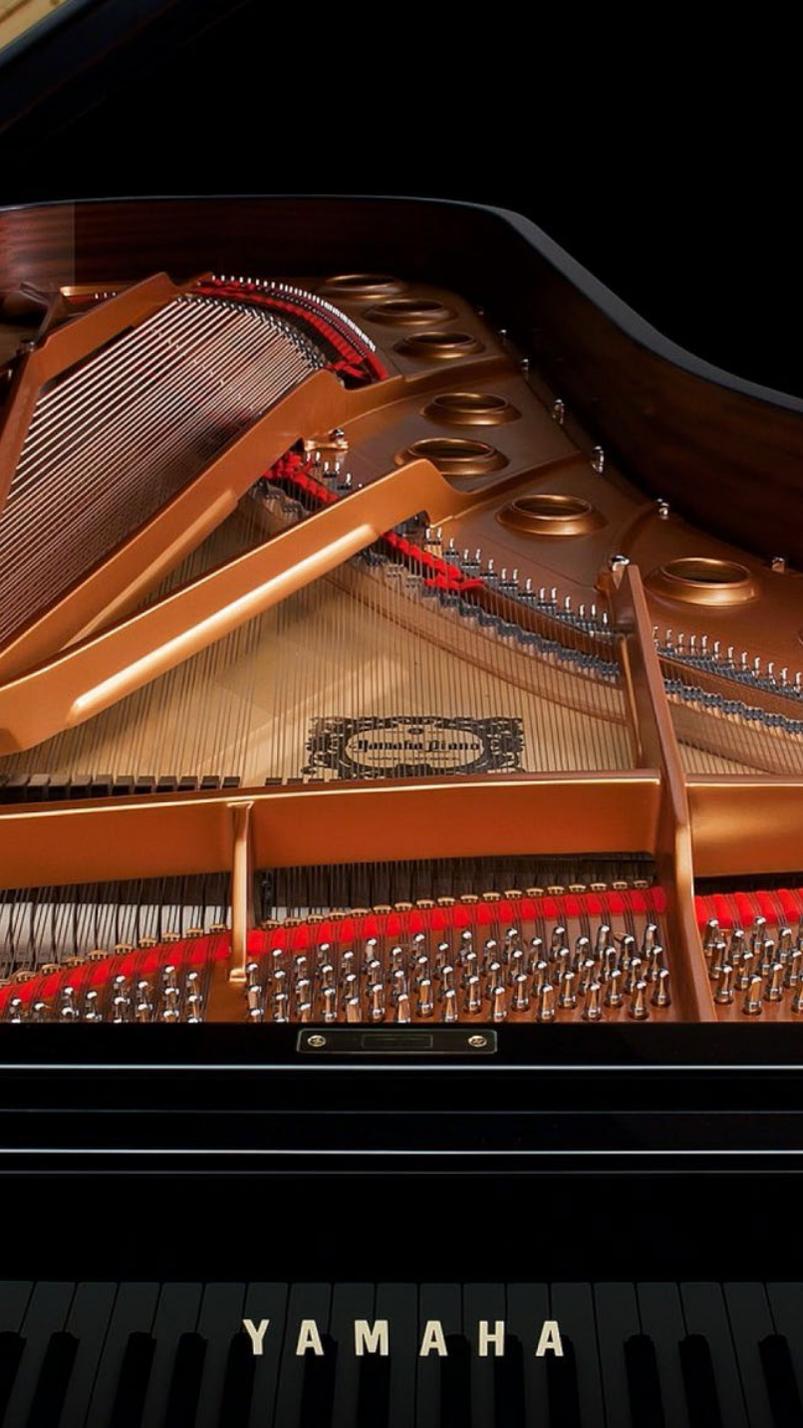
設備投資額・減価償却費/研究開発費

設備投資額/減価償却費



研究開発費





4. トピックス

中期経営計画 重点テーマ (1)

事業基盤をより強くする

① 顧客と もっと繋がる

ブランド発信と研究開発拠点を
首都圏（渋谷・横浜）に整備
 新しい音楽や文化の創出とオープンイノベーション



左：Shibuya Sakura Stage「渋谷桜丘新拠点」（2024年夏予定）
 右：横浜シンフォステージ「ブランドショップ」（2024年6月予定）

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23122201/

フィリピン販売現地法人本格稼働開始
 （マニラ首都圏マカティ市）



ヤマハ専売店がリニューアル（2023年10月）

② 新たな価値を創出する

個性際立つ商品サービスの提案

音楽制作を持ち歩ける
 オールインワンギア「SEQTRAK」



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24011601/

「専用アプリ不要」の施設/車両向け
 多言語サービス
 スマートフォンで公共交通機関の利便性向上



「みえるアナウンス」

「スマホでインターホン」

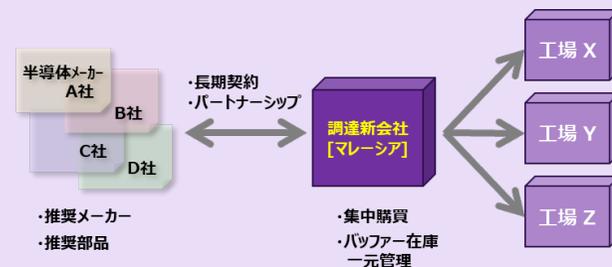
https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23122001/

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23080801/

③ 柔軟さと強靭さを備え持つ

マレーシアに半導体調達子会社設立

部品点数、メーカーを絞り込み
 直接取引で安定調達



https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23122203/

イノベーションを生み出す
知的財産基盤の強化

中国音響メーカーに対する
 意匠権侵害訴訟勝訴

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2024/24012901/

中期経営計画重点テーマ（2）

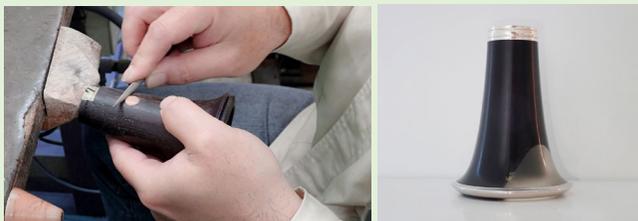
サステナビリティを価値の源泉に

【環境】

地球と社会の未来を支える
バリューチェーンを築く

ダイバーシティクラリネット

自然素材それぞれの持ち味を生かし、欠陥のある木材を部分的に補うなど資源の有効活用を通じた持続可能な楽器づくりを目指す



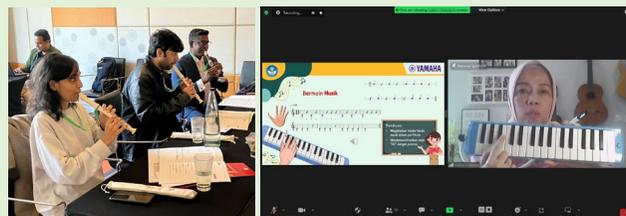
クラリネットパーツを埋木や樹脂で補完

https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23120601/

【文化】

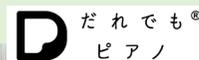
音楽文化の普及・発展により
市場を拡大する

新興国での器楽教育普及の取り組み



リコーダー・ピアノカ講師研修（インド、インドネシア）

すべての人に演奏の楽しみを



リアルタイムAI解析技術を活用し、指一本から弾ける自動伴奏追従機能付きピアノ「だれでもピアノ」で叶えるコンサート

<https://www.yamaha.com/ja/about/initiatives/the-9th/>
<https://youtu.be/dNHu97SsVw4>

ともに働く仲間の活力最大化

人権尊重とDE&Iを
推進する

DE&Iへの取り組み評価

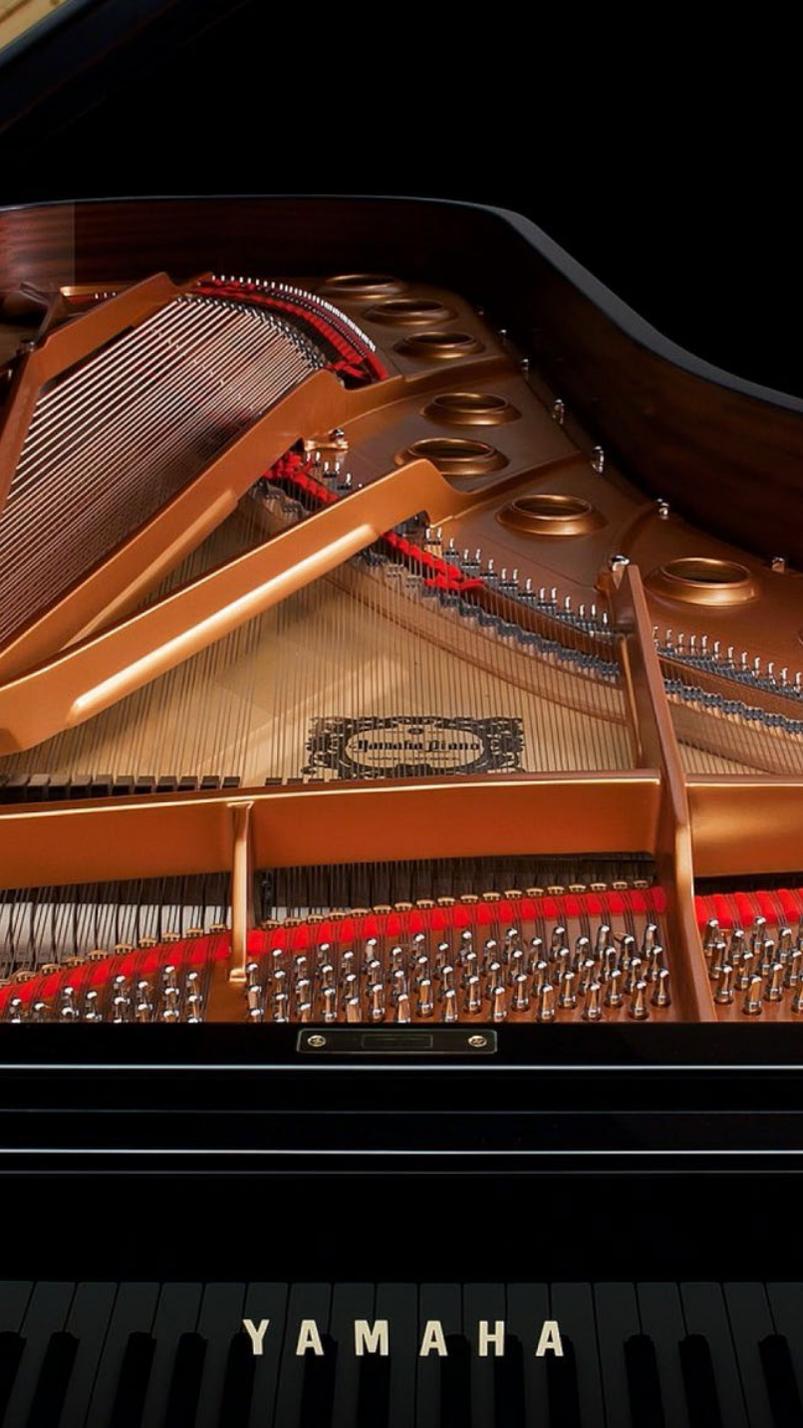


https://www.yamaha.com/ja/news_release/2023/23110801/
https://www.yamaha.com/ja/csr/activity_report/social/diversity/

従業員が社会と直接関わり
個性を発揮する機会を提供



従業員社会貢献プログラム



付属資料

Y A M A H A

3Q 業績概要

(億円)

		23/3	24/3	前期比	
売上収益		1,202	1,222	+19	+1.6% ^{*2}
事業利益 (事業利益率)		143 (11.9%)	125 (10.2%)	△18	△12.9%
当期利益 ^{*1}		92	58	△34	△37.2%
為替レート (円)					^{*2} △3.1% (為替影響除く)
売上収益 (期中平均)	US\$	141	148		
	EUR	144	159		
利益 (決済レート)	US\$	144	149		
	EUR	137	146		

*1 親会社の所有者に帰属する当期利益

3Q 事業別実績

(億円)

		23/3	24/3	前期比	為替影響
楽器事業	売上収益	803	798	△5	38
	事業利益	108	84	△25	12
	事業利益率	13.5%	10.5%	△3.0P	
音響機器事業	売上収益	287	336	49	17
	事業利益	13	34	22	4
	事業利益率	4.4%	10.2%	5.9P	
部品・装置 その他の事業	売上収益	112	88	△24	1
	事業利益	22	7	△15	1
	事業利益率	19.9%	7.8%	△12.1P	

3Q累計 その他収支等

(億円)

		23/3	24/3
事業利益		387	278
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	0	0
	その他	4	△22
	計	4	△22
営業利益		392	256
金融収支計	受取配当金	15	18
	その他	12	20
	計	27	38
税前利益		418	295
法人税等		118	87
非支配株主利益		0	0
当期利益*		300	207

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

通期 その他収支等

(億円)

		23/3	24/3 (予想)
事業利益		459	340
その他収益・ 費用収支	固定資産処分損益	△0	0
	その他	6	△25
	計	6	△25
営業利益		465	315
金融収支計	受取配当金	26	30
	その他	15	25
	計	41	55
税前利益		506	370
法人税等		△124	△79
非支配株主利益		△0	△1
当期利益*		382	290

* 親会社の所有者に帰属する当期利益

この資料の中で、将来の見通しに関する数値につきましては、ヤマハ及びヤマハグループ各社の現時点での入手可能な情報に基づいており、この中にはリスクや不確定な要因も含まれております。

従いまして、実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、需要動向、米ドル、ユーロを中心とする為替動向等により、これらの業績見通しと大きく異なる可能性があります。